

# はじめに

本学図書館では、看護学部1年生の必修科目「基礎力総合ゼミナールⅠ」（以下、基礎ゼミ）と連携し、毎年、演習を中心とした情報検索のガイダンスを行っている。

ガイダンス後には、学生へのアンケートを実施し、内容の見直しを行ってきたが、細かな分析にまでは至っていなかった。今回、過去5年間のアンケート結果（自由記述）から、学生が情報を検索する際、どのような点で困っているのか、ガイダンスで何が分かったのか、分からなかったのか等、問題点や課題を見つける。

（2018年以降、ガイダンス内容・時間等を変更したため、

2015～2017年、2018～2019年に分けて分析）



## 【授業の目的】

大学生としての学修方法を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身につける。

## 【到達目標】

1. 生活環境を整え、継続して学修に取り組むことができる。
2. 講義内容を理解し、要点をまとめることができる。
3. 学習課題や疑問について、調べ、考え、自分の意見を述べることができる。
4. 課題の議論に用いる文献・資料の検索・引用方法を知る。

# 図書館 情報検索ガイダンス実施概要

## 【時期】

4月末～5月初旬(全15回の授業の2回目または3回目)

## 【対象人数】

約50名／回 (約100名の1年生をA・Bの2グループに分ける)

## 【実施時間】

2018(H30)以前 90分

2019(H31) 40分

# 図書館 情報検索ガイダンス実施概要 (2015~2017)

1. DVD「情報の達人 レポート・論文を書こう！」を視聴 **10分**
2. 上記DVDのレポート作成の手順10項目に沿って  
パワーポイントで説明（演習含む）

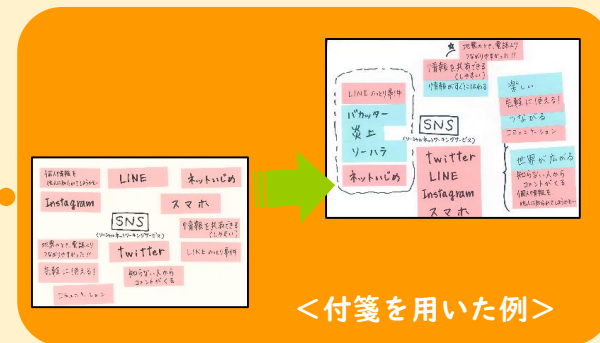
## ① テーマの選択（基礎ゼミ担当教員から事前に提示）

## ② 事前調査

事前調査の目的と辞書等の参考資料を説明

## ③ 仮アウトラインの作成

思考マップ、付箋の例を提示



**10分**

## ④ 関連文献の調査（パソコンを使用した演習）

- ▶ 図書：本学OPAC、Webcat Plus、県立図書館横断検索サイト
- ▶ 雑誌：CiNii ▶ 新聞：ヨミダス文書館
- ▶ ウェブサイト：ドメイン名の確認

**40分**

# 図書館 情報検索ガイダンス実施概要 (2015~2017)

## ⑤文献の入手

相互貸借、文献複写依頼、公共図書館

## ⑥文献の読解と整理

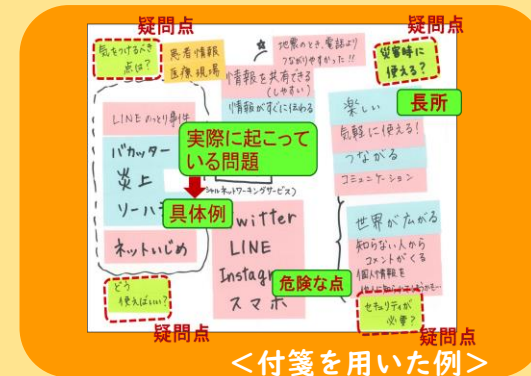
読解のポイント

## ⑦最終アウトラインの作成

全体の構成例（序論・本論・結論）を提示

## ⑧執筆・校正

文章化のポイント（「である」調を使用。同一概念は同一用語で表す等。）



10分

## ⑨出典の表示

参考文献の書き方の練習問題（本学紀要の執筆要領に準じた書き方）。  
回答とよくある間違いの説明。

## ⑩仕上げ

誤字、脱字の確認等。

20分

⇒ ガイダンス終了後、授業時間内にアンケート（紙媒体）を実施

# 図書館 情報検索ガイダンス実施概要 (2018~2019)

- 2018(H30) 基礎ゼミ担当教員の要望により、  
④関連文献の調査 ⑨出典の表示を中心とした内容で実施。
- 2019(H31) 基礎ゼミ授業計画の変更に伴い、実施時間を  
90分から40分に短縮。DVDの視聴は省略し、  
④関連文献の調査を中心とした内容で実施。

⇒ ガイダンス終了後、授業時間外でアンケート(Web)を実施

# 受講学生数とアンケート回答率

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
出席者 (人)	105	105	122	98	124
回答者 (人)	104	104	122	41	61
回答率 (%)	99.0	99.0	100.0	41.8	49.2
アンケート方法	紙媒体 (授業時間内に提出)			Web (授業後に任意回答)	

# <アンケート結果>よく分かった点

フリーソフト「KH Corder」を用いて、自由記述のテキストマイニング\*を実施

\* 大量の文章データ（テキストデータ）を品詞単位の単語に分解して言葉のつながりや出現頻度を抽出し、確認すること

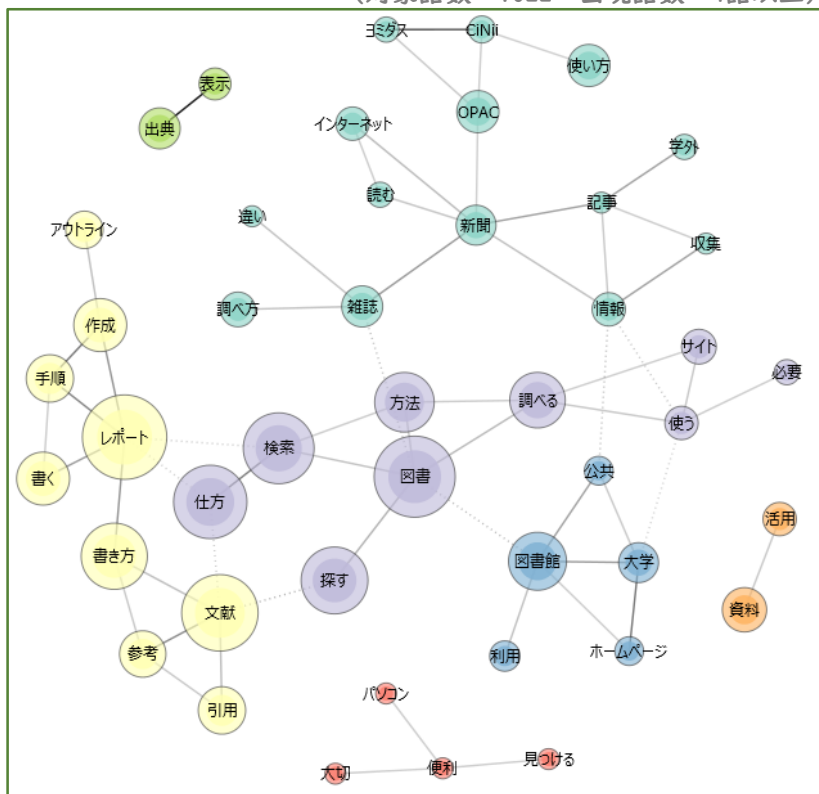
アンケートに記述されていた言葉を、つながりと頻度によって、色分けと円の大きさに表したものを。

つながりのある言葉は同じ色で表示され、円の大きさは出現頻度を表している。

実線は同色グループ、強い共起関係ほど濃い線で表される。点線は他の色のグループとのつながりを示す。

2015～2017

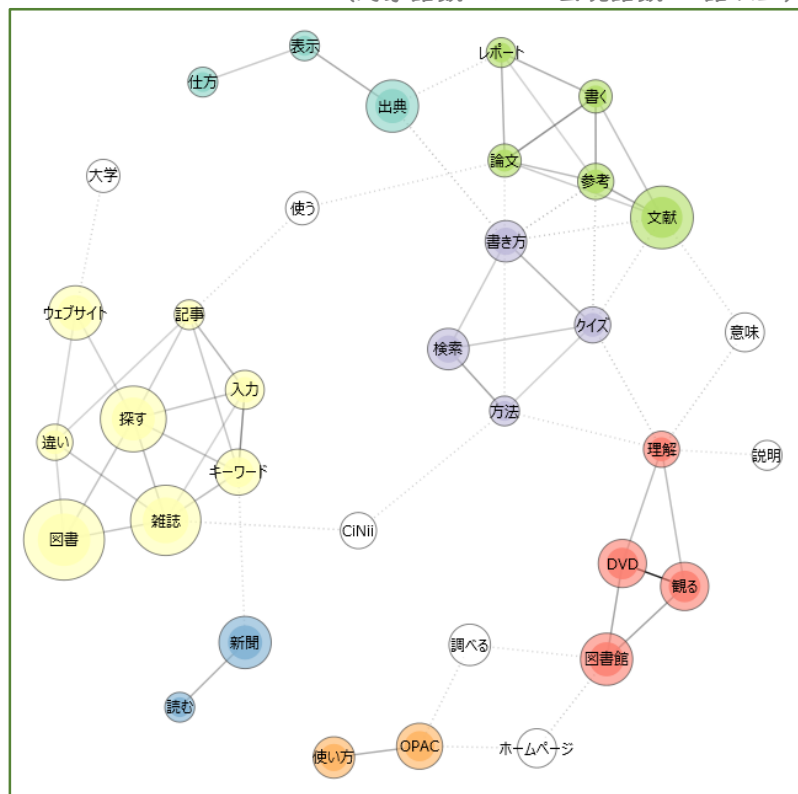
(対象語数：1022 出現語数：4語以上)



⇒ レポートの書き方、図書の探し方が理解できた。

2018～2019

(対象語数：327 出現語数：4語以上)



⇒ 図書や雑誌の探し方が理解できた。

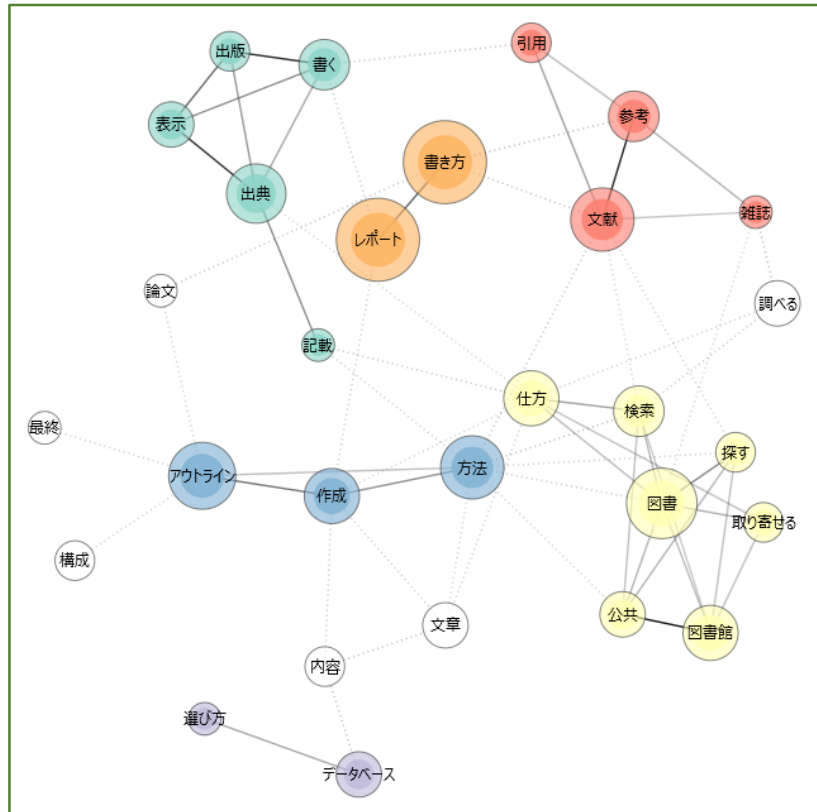


# <アンケート結果>よく分からなかった点

※無回答が多かったため、分析対象語数を2語以上とした。

2015～2017

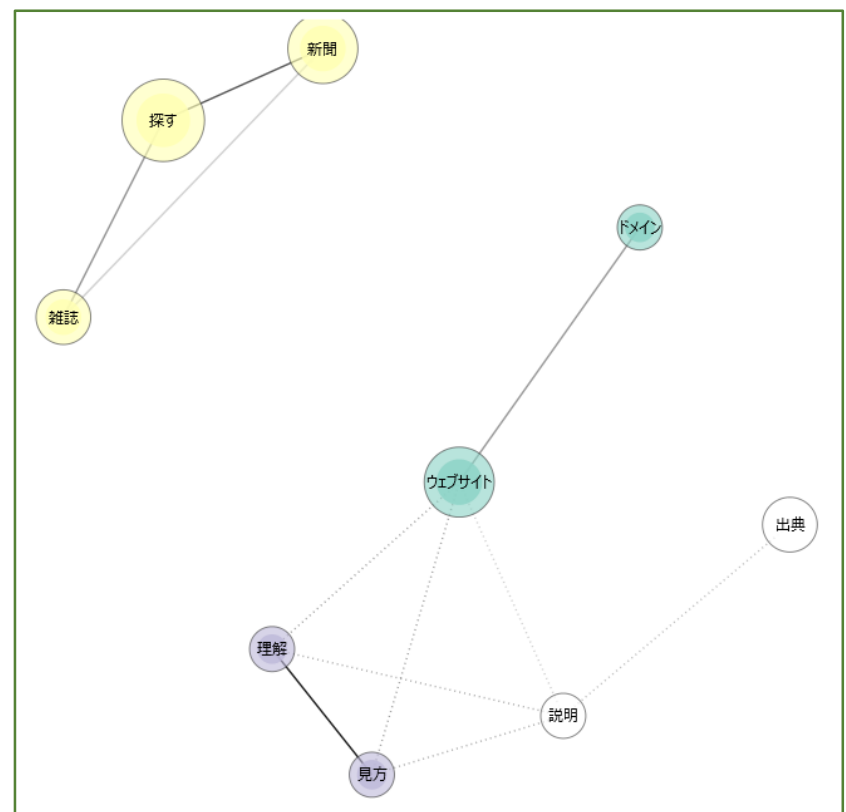
(対象語数：151 出現語数：2語以上)



⇒ レポートの書き方、出典の書き方、公共図書館の利用に関することが理解できなかった。

2018～2019

(対象語数：42 出現語数 2語以上)



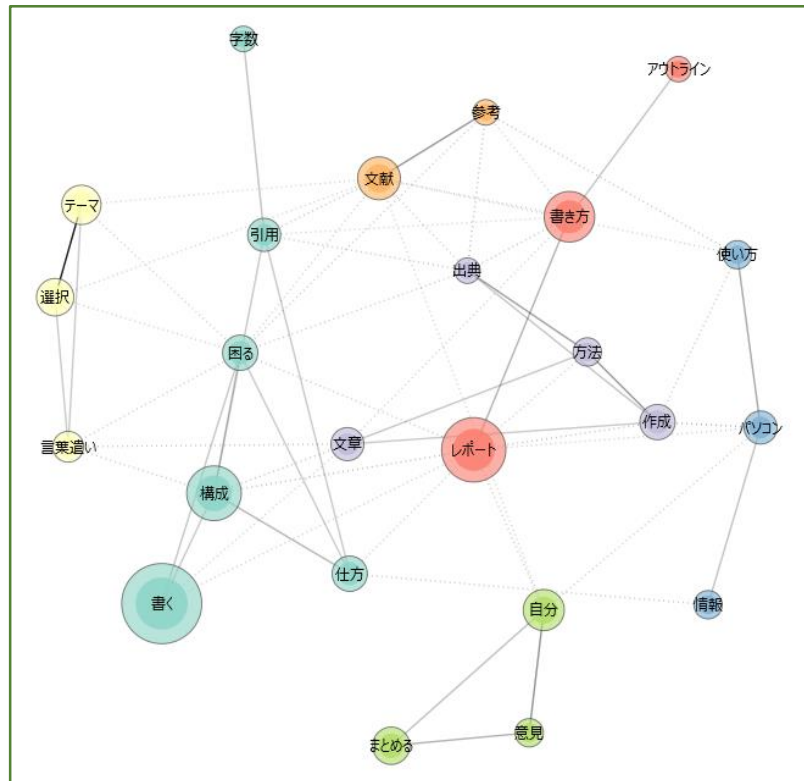
⇒ 雑誌、新聞の探し方、ウェブサイトに関することが理解できなかった。

# <アンケート結果>レポート作成時に困っている点

※2018～2019は、無回答が多かったため、分析対象語数を1語以上とした。

2015～2017

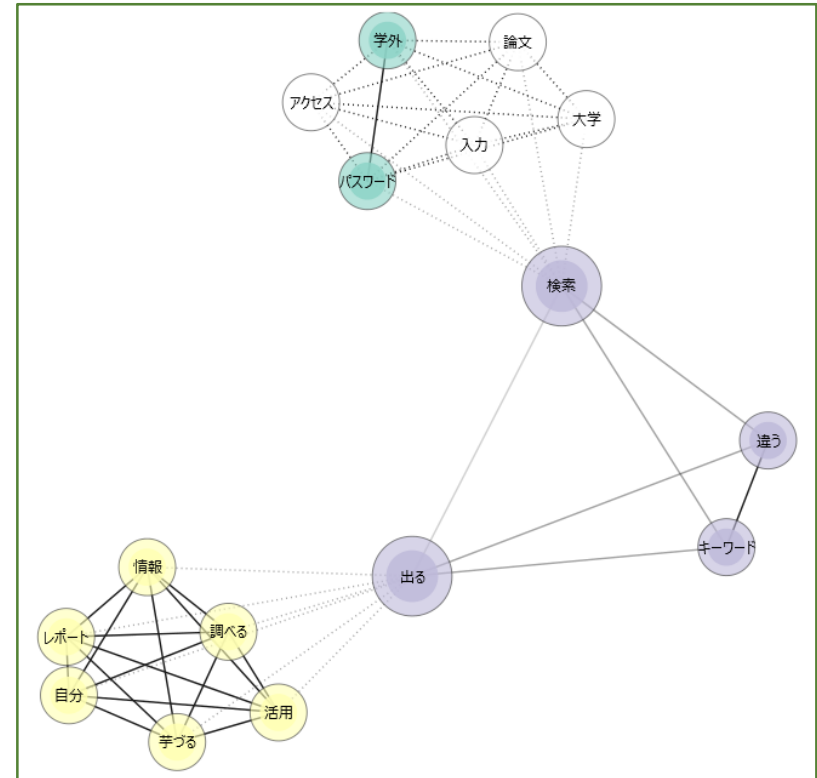
(対象語数：306 出現語数：4語以上)



⇒ レポートの書き方（構成、アウトライン）に困っている。

2018～2019

(対象語数：16 出現語数：1語以上)

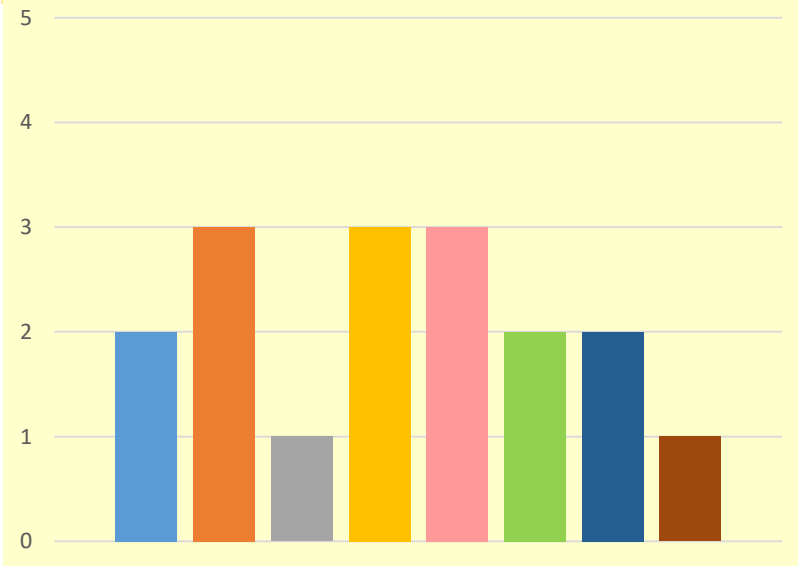


⇒ 検索時のキーワード設定に困っている。

# 基礎ゼミ担当教員へのアンケート

情報検索ガイダンス後に、2019年度の基礎ゼミ担当教員へのアンケートを実施（担当10名中、7名が回答）

## ① 学生が使い方を習得している、内容を理解できていると思われる項目※



図書や雑誌、ウェブサイトなど、資料形態や媒体別の特性

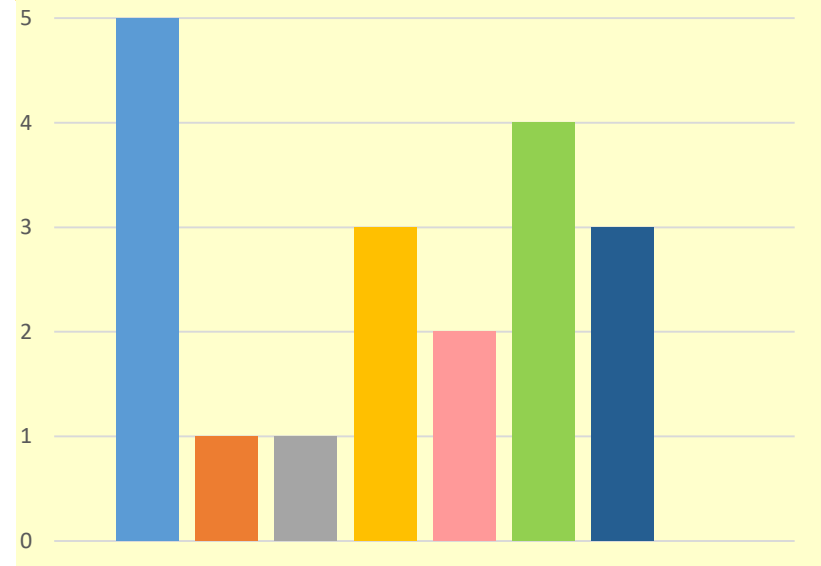
検索時のキーワードの選び方

ウェブサイトの情報の使い方、信頼性の判断

引用、参考文献の用い方

OPACの使い方

## ② 学生が使い方を習得していない、内容を理解できていないと思われる項目※



※回答は複数項目選択可とした

⇒ 資料の特性や引用、参考文献の用い方が理解できていない。



# 基礎ゼミ担当教員へのアンケート

## ③情報検索ガイダンスで、学生に習得してほしいと思う点

- ・ 図書館のサイトには多くの検索サイトが紹介されているが、**どのサイトが一番使いやすいか**等について、習得して欲しい。
- ・ **情報リテラシー**
- ・ 文献検索の方法、**キーワードの選択**、第2、第3のキーワードの設定。
- ・ 今行っている項目でよいと思う。実際に用いながら、また戻ってみる。定着していけるとよいと思う。

## ④基礎ゼミⅡ（1年生後期）で、図書館に支援してほしいこと

- ・ ゼミが進む中で、考えることや調べる面白さなどを感じてきているように思う。今後は、学生が課題に向かう際の**個別指導**をしていただきたい。
- ・ 文献検索の方法
- ・ テーマに対する問いの**見つけ方**、**見つけるための文献の探し方**、**どのような資料を読めばよいのか**。
- ・ **検索の方法や出典の記入方法**は、毎年ゼミで追加して説明が必要になるため、習得支援をお願いしたい。
- ・ 個別対応だと思う。これまでも十分支援してくださっている。

# 基礎ゼミ担当教員へのアンケート

## ⑤ その他の意見

- ・次年度情報検索ガイダンスの適切な時間や回数があれば、遠慮なく教えてほしい。次年度のシラバスを作成する際に考慮したいと思う。
- ・ガイダンスの際、PCの不具合から、しっかりと学べていない様子がうかがえたので、後期も前期の内容を踏襲して、再度ガイダンスを実施する方が、学生の知識定着につながるものと感じた。
- ・**なんでもWebサイトでの検索をしようとする傾向がある**。信頼性の判断の必要性は、わかっているように思うが、便利さからか、「ネットで調べればよいですか」との質問を受けることが多い。
- ・**安易にネットの記事を用いないこと**。**情報倫理**についても併せて学習する必要があると思っている。情報検索は、ジャンクな情報との違いが認識できていない。図書を利用する意義の理解が深まればよいと思うので、引き続きゼミや講義でも指導が必要だと思う。
- ・**情報リテラシー**において、図書館を含む多様な情報チャンネルと資源の有効性と信頼性を評価する方法という点において、特に**信頼性の評価**については、改めて学生への指導が必要だと感じる(レポートでも、容易にアクセスできる利便性から、引用・参考文献がWEBサイトを活用しているのが散見できるため)。

# 今後の課題

## 学生の声

- ・ レポートの書き方が分からない。
- ・ 雑誌やウェブサイトの使い方がいまいち分からない。
- ・ 検索時のキーワード設定が分からない。

## 教員の声

- ・ 資料の特性を知ってほしい（ウェブサイトを安易に使わないようになってほしい）。
- ・ 出典の書き方を教えてほしい。
- ・ 情報倫理も身に付けてほしい。



- ・ 資料の特性、キーワードの拾い方を強調する。
- ・ ウェブサイトの説明時に、情報倫理も含めて説明する。
- ・ 引用の方法、出典の書き方を教える。

# 今後の課題

## 【教員との連携】

- ・ 図書館で指導する内容の情報共有
- ・ 課題レポート作成の流れで文献検索方法を指導（実施時期の変更）
- ・ アンケート結果の継続的なフィードバック

## 【科目時間外での支援】

- ・ 後期開講の基礎ゼミⅡへの継続的な支援
- ・ アカデミック・ライティング（学術的文章の技能習得に特化した科目）との連携も必要？
- ・ レポートを作成の時期に合わせ、実際の課題に沿った情報検索演習を実施？

## 【ニーズの把握】

- ・ 参加学生へ、授業時間内での回答を促す
- ・ ゼミ担当教員だけでなく、全教員？へアンケートを実施  
→ 各学年の傾向を見る

